

平成26年5月5日発行
発行／宇佐市議会
直通:0978-32-2328
Fax:0978-32-1437

宇佐市議会

小学校紹介シリーズ



秋季大運動会での「うずまき行進」

宇佐市立長洲小学校（児童数 203 名）

校舎の3階から、はるかかなたに周防灘の水平線が一望できます。天気の良い日は、山口県が見えることもあります。かつて児童数1800人を誇っていたこともありましたが、現在はこじんまりと落ち着いた学校になっています。

50年ほど前からある「鼓笛隊」と「うずまき行進」だけは肅々と引き継がれ、伝統となっています。鼓笛隊は、「宇佐市みなと祭り」でパレードしたり、「県内一周駅伝」の時は沿道から応援したりしています。「うずまき行進」は、運動会の時だけですが、独特の方法は健在です。現在は、全校児童だけでは「うずまき」にならないため、保護者や地域の方々に参加していただいで維持できています。



「放生会のお上り」～和間神社から宇佐神宮まで神輿の先導をします～

宇佐市立和間小学校（児童数 79 名）

宇佐神宮の数ある祭儀の中でも、一大神事である放生会は、和間の先人が今日まで引き継いできました。

昭和48年、4年生から6年生の児童で「お囃子クラブ」が結成され、「道行囃子」の伝統文化を継承してきました。

現在では、3年生から6年生の児童で、「和間文化財愛護少年団」を結成し、6月から週1回、総合的な学習の時間を活用し、地域の指導者の協力も得て、練習しています。

片道8キロの道のりを、演奏しながら歩くのはたいへんですが、ふるさと宇佐（和間）を愛し誇りに思う子どもが育っています。

3月定例会

○平成25年度一般会計・特別会計補正予算案を可決

○平成26年度一般会計・特別会計予算案を可決

目次	定例会の主な内容・議決結果一覧表……………	P.2～4
	一般質問……………	P.5～11
	森林活性化植樹大会・編集後記等……………	P.12

3月定例会

平成26年度一般会計当初予算案(276億3,300万円)を
含む 50 議案すべてを、可決・同意

平成26年3月定例会が2月26日から3月18日までの21日間の会期で開催しました。

上程した議案は、追加を含め50件で、全ての議案を原案のとおり可決・同意しました。

また、今定例会に提出されました請願4件のうち、2件を閉会中の継続審査、1件を趣旨採択、1件を採択。12月議会定例会からの継続審査となっていました2件を不採択。そ

のほか議員提出議案1件を原案のとおり可決しました。

〔本会議第1日〕(2/26)

◆議案の上程及び説明

平成25年度一般会計補正予算(第6号)案のほか、決算案、一般議決案、条例案など46件と報告1件を上程し、市長から提案理由の説明がありました。

◆継続審査中の請願の委員長報告、委員長質疑、討論、採決

12月議会定例会より継続審査となっていました請願2件に対し、1件を継続審査、1件を不採択としました。

〔本会議第2～4日〕

(3/4～6)

◆追加議案の上程及び説明(1件)

平成25年度一般会計補正予算(第7号)を上程し、市長から提案理由の説明がありました。

◆一般質問

3日間にわたり、15名の議員から市政一般に対する質問が行われました。(P5～P11詳細)

〔本会議第5日〕(3/10)

◆追加議案の上程及び説明(1件)

平成25年度一般会計補正予算(第8号)を上程し、市長から提案理由の説明がありました。

◆議案質疑

上程した議案に対し質疑が行われました。

〔本会議第6日〕(3/18)

◆各常任委員会の審査報告の後、委員長質疑、討論、採決

各常任委員長から議案・請願の審査報告があり、その審査結果を基に採決を行いました。議案48件を原案のとおり可決。請願5件のうち2件を採択、趣旨採択、2件を継続審査、1件を不採択としました。

◆追加議案の上程及び説明(2件) 質疑、討論、採決

宇佐市人権擁護委員と宇佐市教育委員会委員の人事案件を上程し、質疑、討論、採決を行い、いずれも同意しました。

《宇佐市人権擁護委員》

佐藤修水氏

(院内町大門)

《宇佐市教育委員会委員》

秋吉禮子氏

(上時枝)

◆議員提出議案上程

議員提出議案が提案され、質疑、討論、採決を行い、原案のとおり可決しました。(P12詳細)

You Tubeでも 録画配信開始

皆さんに、議会を知ってもらうため、平成26年3月第1回定例会より、「YouTube」での録画配信を開始しました。宇佐市議会ホームページからアクセスできます。

平成26年 3 月 第 1 回宇佐市議会(定例会)議決結果一覧

番 号	件 名	結 果
議第 1 号	平成25年度宇佐市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議第 2 号	平成25年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	〃
議第 3 号	平成25年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃
議第 4 号	平成25年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第 5 号	平成25年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第 6 号	平成25年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第 7 号	平成25年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第 8 号	平成25年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第 9 号	平成25年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	〃
議第10号	平成25年度宇佐市水道事業会計補正予算(第3号)	〃
議第11号	平成26年度宇佐市一般会計予算	〃
議第12号	平成26年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	〃
議第13号	平成26年度宇佐市介護保険特別会計予算	〃
議第14号	平成26年度宇佐市農業集落排水事業特別会計予算	〃
議第15号	平成26年度宇佐市簡易水道事業特別会計予算	〃
議第16号	平成26年度宇佐市公共下水道事業特別会計予算	〃
議第17号	平成26年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	〃
議第18号	平成26年度宇佐市介護サービス事業特別会計予算	〃
議第19号	平成26年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議第20号	平成26年度宇佐市水道事業会計予算	〃
議第21号	宇佐市債権管理条例の制定について	〃
議第22号	宇佐市空き家等の適正管理に関する条例の制定について	〃
議第23号	宇佐市移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の制定について	〃
議第24号	宇佐市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	〃
議第25号	宇佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議第26号	宇佐市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び宇佐市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	〃
議第27号	宇佐市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	〃
議第28号	宇佐市中山間ふるさと農村活性化基金条例の一部改正について	〃
議第29号	宇佐市手数料条例の一部改正について	〃
議第30号	宇佐市宇佐文化会館・ウサノピア条例の一部改正について	〃
議第31号	宇佐市社会教育委員設置条例の一部改正について	〃
議第32号	宇佐市青少年問題協議会条例の一部改正について	〃
議第33号	宇佐市児童館条例の一部改正について	〃
議第34号	宇佐・高田地域障害程度区分判定審査会の委員の定数等を定める条例及び宇佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議第35号	宇佐市農地、農業用施設災害復旧事業分担金徴収条例の一部改正について	〃
議第36号	宇佐市土地改良施設維持管理適正化事業分担金徴収条例の一部改正について	〃
議第37号	宇佐市指定特定非営利活動法人の指定の基準、手続等に関する条例の一部改正について	〃
議第38号	宇佐市地域交流ステーション条例の一部改正について	〃
議第39号	宇佐市霊柩車使用条例の廃止について	〃

番 号	件 名	結 果
議第 4 0 号	公の施設の区域外設置について	原案可決
議第 4 1 号	不動産の処分について	〃
議第 4 2 号	市有財産の無償譲渡について（丸田水道組合）	〃
議第 4 3 号	市有財産の無償譲渡について（和田水道組合）	〃
議第 4 4 号	市有財産の無償譲渡について（羽馬礼本村水道組合）	〃
議第 4 5 号	市有財産の無償譲渡について（福貴野水道組合）	〃
議第 4 6 号	宇佐・高田地域障害程度区分判定審査会共同設置規約の変更について	〃
議第 4 7 号	平成 2 5 年度宇佐市一般会計補正予算（第 7 号）	〃
議第 4 8 号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案同意
議第 4 9 号	宇佐市教育委員会委員の任命について	〃
議第 5 0 号	平成 2 5 年度宇佐市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決

○議員提出議案

番 号	件 名	結 果
議員提出議案 第 1 号	宇佐市議会議員の定数に関する条例の一部改正について	原案可決

○請願

番 号	件 名	結 果
請願第 1 号	宇佐市議会の議員定数削減に関する請願書	趣旨採択
請願第 2 号	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の提出を求める請願書	継続審査
請願第 3 号	市道小平線の「わたり橋」拡幅補強整備を求める請願書	採 択
請願第 4 号	「かんぼの郷宇佐」の存続を求める請願書	継続審査

○閉会中の継続審査の請願審議結果

番 号	件 名	結 果
平成 25 年 請願第 1 2 号	緑の庄安心院台の景観を守る請願	不採択
平成 25 年 請願第 1 3 号	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書の提出に関する請願	〃

○賛否の分かれた議案採決結果

議案番号		後藤電也	河野睦夫	広崎謙二	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	中島孝行	木下一夫	加来栄一	新開洋一	林 寛	用松律夫	大隈尚人	衛藤正明	宮丸龍美	佐田則昭	釜口 孝	永松 郁	斉藤文博	浜永義機	衛藤博幸	相良公治	久保繁樹	徳田 哲
議第 11 号	平成 2 6 年度宇佐市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第 12 号	平成 2 6 年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第 13 号	平成 2 6 年度宇佐市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第 19 号	平成 2 6 年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第 27 号	宇佐市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案 第 1 号	宇佐市議会議員の定数に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成=○ 反対=× 退席=△

議長につき表決なし

市政一般に對して 質問をしました

率の向上に一層の推進をする。

問③ 新年度公共工事予算と入札制度について。

答 130万円以下の工事において、安全管理を徹底したうえで、現場代理人の兼任の緩和をし、実施する。単価の上昇が著しい5工種において、土木工事標準単価の見直しを実施している。

市民の健康長寿対策



木下一夫（照政会）

問① パナソニックSN九州株の閉鎖撤退について。

答 私（市長）を含め市議会議長、商工会議所会頭、大分県東京事務所とともに、本社を訪問し、改めて事業所存続と雇用の確保等の要請を行ったところで、好転に向け全力を尽くす。

問② 市民の健康長寿の施策は。

答 減塩キャンペーン・健康推進員組織の拡充・健康チャレンジ・特定健診・がん検診の受診率の向上・ジュネリック医薬品の普及促進の五項目を掲げて取り組み強化し、市民参加

問④ 公有財産の有効活用は。西部中学校跡地の活用について「平和ミュージアム（仮称）構想の検討委員会に提言。」

法について。

答 公有財産検討委員会に諮り、積極的に、貸付・売却を進め努力する。

問⑤ 市民の功労者の顕彰、保存方法について。

答 被表彰者の方々は、ホームページ、新聞紙上等で広く紹介、顕著な功績を残された方々を末永く顕彰し、後世にその名を残すことは意味深く、顕彰のあり方については、創意工夫をしていく。

問⑥ 農地集積機構の所見。

答 農地の出し手、受け手の双方が、農地の再編を円滑にするため、関係機関と一体に取り組む。



河野康臣（市民クラブ）

交流・定着人口を どう増やすか

問① 宝島社・田舎暮らし日本一の活用について、交流人口をどう増やすか。

答 ホームページによる全国への発信。受け皿としての各種イベント、家族旅行村「安心院」、岳切溪谷など観光地のインフラと交通網の整備。

問② 子どもの発達の全面的保障について。

(1) 乳幼児健診における現状は。

答 「異常なし」が54%。あとは何らかの支援を要する。

(2) どんな支援策を講ずるか。

答 専門医・臨床心理士等、各専門スタッフ連携による支援を行う。

問③ 今後の農水省の農業政策について。

答 国の基本的な考え方は、強い農林水産業、美しく活力あ

る農山村漁村づくりにある。

(2) 農地集約への不安解消策は。

答 情報提供ときめ細かな説明会を各団体連携のもと、実施する。

(3) 養殖事業への展望は。

答 浅海内水面研究所や漁協等と連携を図りながら調査研究をする。

問④ 防災・減災対策について。

(1) 今冬大雪害への認識は。

答 市内で孤立状況の情報にはなかったが、十分な対策が必要である。

(2) 災害時の移動策や食物備蓄は。

答 生活用品の備蓄は概ね二日間を基準としている。



今石靖代（日本共産党）

「子どもの権利条約」制定を

問① 「子ども権利条例」について子どもを「保護の主体」としてではなく「権利の主体」とみる、この基本的な立場が今後の子育て支援に大切。市長も、必要性やあらゆる施策

に活かしていく姿勢は示すが、条例制定について、どう進めるのか。

答 今後も、調査・研究していく。

問② 子どもの医療費無料化制度について、全国の半分の自治体が中学卒業まで入院、通院費とも無料にしている。小学校卒業まで拡充を。

答 国や県へ働きかけ動向をみたい。



学童保育の様子

問③ 学童保育について、「子ども子育て支援新制度」では、今後、市で条例を制定するとなっている。施設の基準や維持管理、職員の条件、利用料の考え方など、学童が生き生きと活動できる学童保育の整備をどうすすめていくのか。

答 利用者や施設の意見も十分に聴いて、よりよい発達の場を整備していきたい。

問④ 特別養護老人ホームは、待機者が多く、深刻な実態がある。待機

者がさらに増えることが予想され、公的施設の増設を。

答 介護事業者が多く、これ以上の増設は保険料の値上げにもつながるので、次期6期計画では計画しない。

問⑤ 昨年、広島高裁は、鳥取県の児童手当差し押さえについて、「違法である」とし、判決が確定した。宇佐市でも同じような徴税が行われていたが、どう改善したのか。納税者の立場に立った徴税業務を。

答 鳥取県以上の改善をしている。

問⑥ 老朽化した市営住宅の住み替えについて、移転費など国庫補助を使って、計画的に進めるべきだが、必要なことで検討していきたい。



大隈尚人（市民クラブ）

災害時の避難について

問① 子どもの医療費について中学校就学前の医療費を無料にできないか。

答 今後、県の子どもの医療費の補助金の対象が拡大される等財源の見通しが立った時点で検討したい。

問② 災害時の避難について災害時の各地の指定避難場所の耐震補強の実施状況はどうなっているのか。また、災害時の高齢者や障がい者の避難誘導のマニュアル化はできているか。

答 平成27年度までに耐震補強が完了する予定である。高齢者や障がい者等の名簿の作成や情報を避難支援等関係者へ提供している。

問③ 市職員採用についてスポーツ枠を設けてはどうか。

答 現時点では、その枠は考えていないが、市民のために有益な経験を有する人材の採用に努めたい。

問④ 高齢者対策について特に山間部では、高齢者にとって食料等の買い物が不便である。自宅で買い物ができる移動販売車の活用はできないか。

答 移動販売を含め、買い物弱者対策については、国・県等の対策事業の活用を考えていきたい。

問⑤ 介護保険について国の方針で介護保険が見直される。高齢者サロン等の必要性を市としてどのように考えているのか。

答 各高齢者サロン等に運営費補助金を従来の2万円から10万円に拡充

する経費を盛り込んでいる。

問⑥ 現業職給料表の一表と二表の格差は正についてどのように考えているのか。

答 行財政改革の推進をする中で、どのような処遇の改善ができるかを労使で協議していく。



釜口 孝（市民クラブ）

平成26年度 施政方針について

問① 平成26年度施政方針について、(1) 新宇佐市が誕生して、9年が過ぎるが、合併時に策定された「第一次総合計画」と「過疎自立促進計画」の事実効果と検証は、今年度にかけて対策について伺う。

答 毎年、行政評価を行い、事業の改善を図るとともに、庁内ワーキング会議で施策の検証を行っている。(2) 急速な高齢化と少子化の中で支所周辺では、これまでの中心部の機能を失うことで想像した以上に疲弊

しているが、「第二次宇佐市総合計画」ではどのように活かされるのか。

答 今後の取り組みとしては、次の十年間の羅針盤となる計画をしつかり作り上げることが重要と考え「基本構想のフレーム」として安心・安全に関する柱を追加し、「宇佐市八策」として策定を考えていきたい。

問② 「定住満足度日本一・交流満足度日本一」を目指すなかで、誰もが自由に動ける交通手段の確保が求められるが、今後の交通インフラについて施策を伺う。

答 通過されてしまう観光でなく「滞在型観光」を推し進めるうえで市内にとどまり周遊してもらう交通体系が必要と考えている。

また、高齢化・少子化のなかでは課題も多く、今後は公共交通会議で考えを深めていきたい。

問③ 「交通政策基本法」に伴う宇佐市に於ける観光振興と合わせた新たな総合交通体系の推進について今後の施策を伺う。

答 基本法は、行政・交通事業者・利用者が一体となつて取り組まなくては、利便性向上や財政負担の軽減は達成できないと考えており、各交通手段を調査分析しているところだ。平成26年度は、柳ヶ浦駅・宇佐駅と主要観光施設を周遊するバスの試験運行を計画していく。

若者定住に向けて



斉藤文博（市民クラブ）

問① 「周辺地域若者定住奨励金事業」の具体策は。

答 周辺地域に居住用住宅を新築または購入して、市外及び周辺地域外から転入または転居する子育て世代の若者世帯に対し、奨励金としてその一部を助成するもの。

問② 滞在型観光の充実策は。

答 「宇佐市交流人口拡大のためスポーツ大会等開催補助金」制度を設置、「スポーツツーリズムUSA」と題したパンフレットを作成。今後観光パンフレットに宿泊情報を入れ込んでいく。さらに今回、新たに旅行代理店等が造成するツアーへの補助金制度を導入し、観光協会や旅館組合などと連携を深めていく。

問③ 老朽化、耐震性、特に市民の利便性を考えれば宇佐市本庁舎の建

て替えを急ぐべきでは。

答 建築後、42年が経過し、老朽化が進み大地震では倒壊の恐れがある。試算では建て替えでは約47億円、耐震化では8億円。現時点では、耐震改修工事を考えている。



平和資料館のパンフレット

問④ 「平和ミュージアム（仮称）」建設基本計画の具体策は。また、現在の「平和資料館」年間維持費の見込み額は。

答 昨年11月、外部委員で組織する「宇佐海軍航空隊平和ミュージアム（仮称）構想委員会」を設置し、現在、基本構想・基本計画について議論している。策定後、「基本設計」「実設計」を行った後、できるだけ早期に建設工事に着手するよう努める。また、「平和資料館」の年間維持費は実績に基づき推計した結果、職員賃金、光熱水費、警備委託、資料館

賃借料などで年間7百万円の経費を見込んでいる。



広崎譲二（未来の風）

通学路の危険個所の改善は

問① 通学路の安全対策について。
(1) 通学路における危険個所の調査結果を踏まえ、改善に向けた取り組み状況は。

答 緊急合同点検の結果、全56個所で、未着手は6個所となっている。未着手個所の主なものは、豊川小学校前の旧387号線と四日市北小学校前の豊幡線歩道整備。

(2) 豊川小学校前と四日市北小学校前の工事予定は。

答 豊川小学校前の旧387号線は、今測量をしており、来年度、地域の方々と共に検討した後に、来年度末までに設計を終わらせ、再来年度に着工予定である。

問② 用途地域の見直しについて。
(1) 平成20年度に採択された、柳ヶ浦上拝田線沿線及び上田四日市線沿線に対する用途地域見直しに関する請願の対応は。

答 用途地域は、平成8年に大幅に見直し、拡大を行って以来、15年以上が経過し、総合的な検討が必要であると考える。平成26年度に実施する県の基礎調査のデータを踏まえて宇佐市は、平成27年度に調査・分析に着手し、平成28年度に用途地域見直しを目指していく。

(2) 請願の柳ヶ浦上拝田線及び上田四日市線沿線に関してはどうか。

答 是非、検討し見直したい。



中島孝行（新進）

教育委員会制度改革の 見解と教育現場の現況は

問① 合併後、10年の節目の年を迎えるが、現在までの総括と今後の展望は。

答 全施策分野47分野中では、45分野で満足度が向上している。東九州高速道の開通に伴い経済、文化、観光の振興と、防災対策や社会資本の耐震化等、安全対策と財政基盤強化に努める。

問② 教育委員会制度改革に対する見解は。

答 制度がどのように変わろうとも、市長部局と教育委員会が連携をとることが重要。改革については、その動向に注視していく必要がある。

問③ 宇佐市の小学校・中学校教員残業時間は。

答 平日小学校約40分、中学校約100分、休日は小学校約20分、中学校約120分となっている。

問④ 武道教育の必修化が2年経過当初懸念された指導者と保護者への負担と設備等はどうか。

答 一定の指導者または、研修歴を持った教員が指導に当たる体制ができるようになった。設備等も剣道用具や柔道の畳を全中学校に配布、保護者への負担減に努力する。

問⑤ 文科省の全国体力テストの結果は、男女共に運動量は減少、中学2年の女子は大幅な減少が見られるが宇佐市の現況は。

答 当市でも性別にみると、小中学生ともに減少、女子については「ほとんど行っていない」が、小学校

高学年女子で9・6%、中学生では14・7%となっている。

問⑥ 団塊の世代の更なる高齢化は目前にあり、独居老人対策は喫緊の課題行政の対応策は。

答 今年度より、民生委員・児童委員の管轄エリア単位で、自治委員、民生委員、老人クラブ等地域の方々や地域包括支援センターと介護保険課を結んで高齢者の見守りを強化する。



後藤竜也（忠政会）

子育て支援及び 柳ヶ浦駅整備に関して

問① 学校、教育に関して。

(1) 全国学力テストの結果は公表するか。またその位置づけは。

答 各学校の意向を尊重しながら、全国の結果と合わせていきたい。また、テストの結果を踏まえ、生徒の学習状況を把握し、教師自身も指導改善に努めていく。

(2) 教える側、教わる側の認識を明確にするためにも教壇は設置すべきだと思うが、市内学校の設置状況はどうなっているか。

答 市内ほとんどの学校で設置していない。

問② 子育て新制度移行に向けて、どのような方針で臨むのか。

答 子育て世代のニーズ調査や子ども子育て会議や専門部会の意見を取り入れ、平成26年度末までに計画を策定する予定である。

問③ 給食に関して、穀倉地帯の宇佐市。米飯給食を週4日にしてはどうか。

答 現状の回数で実施していきたい。



周辺整備が予定されている「柳ヶ浦駅」

問④ 柳ヶ浦駅周辺整備に関して。

(1) 本年度、駅周辺整備計画を行うとのことだが、駅前ロータリー整備の前倒し実施を求める。

答 柳ヶ浦駅周辺整備計画策定経費を予算計上したので、より専門的、具体的な検討を行い、前向きに進めていきたい。

(2) 玄関駅として相應しい駅舎への改築、駅名の変更（宇佐市駅、宇佐中央駅等）をすべきでないか。

答 コストも掛かり、地元やJRとの協議も必要なため、現時点では困難である。



衛藤義弘（公明党）

宇佐市の展望について

問① 有害鳥獣対策について。

(1) 狩猟者の拡大・わなの講習等の強化ができたか。また、捕獲数とわなの設置個所数は。

答 狩猟者数は、わな98人・銃139人で、捕獲班は151人。20人の新規狩猟者の育成を行っている。対策研修会や講習会費の助成を行っている。対策実施隊を設置し、知識

と技術を地域に普及し、強化している。

(2) 棲み分け対策として、ヤギを飼って草を食べさせ、イノシシが隠れる場所をなくす実験をしてみているか。

答 ある程度効果を上げている自治体がある。地域住民の意見を聞き、調査・研究したい。

問② 第一・二次総合計画について、地域のあり方は、①地域資源の活用②地域の宝を創造③地域の誇りを創る④地域の魅力の創造と考える。どう施策に盛り込むか。

答 地域の宝・誇り・魅力の創造を各種施策に盛り込んでいきたい。

問③ 婚活事業について、婚活サポーター認定者の支援とイベントの今後の事業方針は。

答 講師を迎え、研修会・情報交換会を行った。引き続き事業効果を高めていく。

問④ うつ病対策について、質問票の「うつスクリーニング」を提供し、有効な啓発活動を。

答 ホームページに「うつスクリーニング」を掲載し、周知活動を強化する。

問⑤ 観光振興について。

(1) 東九州自動車道開通を控え、観光客をどのように考えているのか。
答 ①イメージ戦略②タイアップ戦略③ターゲット戦略④メディア戦略

(2) クラウドファンディング導入は、注目を浴びている。調査・研究したい。

※ クラウドファンディングとは、不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと。



衛藤正明（両院クラブ）

宇佐市の山間地域における積雪・路面凍結対策について

問① 積雪や凍結により運休するコミュニティバスの運行対策（四輪駆動車の整備等）について。

答 四輪駆動車という要望だが、実際、四輪駆動車が必要な部分も選択せざるを得ないが、予算の関係もあるので、交通機関とも十分協議しながら、どれがベストか協議していく。

問② 各分団の消防積載車は積雪・路面凍結の箇所、火災・災害などが発生した場合でも対応できる整備はできているか。

答 タイヤチェーンを装着し、災害に対応している。今後、消防団の積載車については災害対策に万全を期すため、車輛の更新時などに地域の実情に応じた装備を考慮していく。

また、スタッドレスタイヤについても消防団幹部会議等において、地域の地理・気候に精通している団の幹部と協議しながら、今後の課題として方向性を出していく。

問③ 除雪について。

答 災害における緊急作業の協定に基づき、建設業協会に出動の要請を行い、除雪等の対応を行った。



院内町県道下恵良九重線の「除雪作業」

問④ 除雪機について。

答 自主防災組織の資機材の整備で地域ごとの色々な対応について整備する場合の補助金制度があるが、現時点ではかなり限定された補助金制度となっている。そこで、この要綱

等を見直しながら、概ね20万円位が除雪機になっていると思うので、その3分の2を助成できるような補助金制度の検討をしている。また、地域の要望等を聴きながら研究していきたい。



辛島光司（照政会）

訪問型支援『ホームスタート』 柳ヶ浦駅前交差点改良

問① 観光振興について、東九州自動車道開通を見据えると各観光協会との連携が非常に重要となってくると思うが。

答 できる限りの支援はもとより連携強化を図っていく。

問② スポーツ振興について。

(1) 中学校における武道必修化の取り組み状況は。

答 相撲6校、柔道1校、剣道1校、(2) サッカーの大会を開催する上で、芝の状況と会場使用において、課題があるのではないか。

答 現状の課題として認識している。できる限りの改善をする。

問③ 子育て環境について。

(1) 26年度に「子育て支援サイト」が開設される。構想は。

答 官民の子育てに関する情報を収集・発信していきたい。

(2) 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」が宇佐市にも開設されている。支援するべきだが。

答 早急に連携を図り、周知・広報において支援する。

(3) うさ児童館（仮称）の開設にあたり、雨の日の行き場・週末の行き場として、多くの子育て世帯が期待している。今後の構想は。

答 子育て世代の声や思いを受け、喜ばれる施設を目指していく。



宇佐市民図書館の「こどもスペース」

(4) 「乳幼児を連れて図書館に行きづらい」との声が多い。把握しているのか。また、改善策は。

答 把握している。先進地見学など行い、指導している。

問④ 柳ヶ浦駅前の産業道路交差点中津方面から左折する大型車両が大変苦慮している。今年度の改良を県に要望すべきだが。

答 現状と要望を県に伝える。



河野睦夫（両院クラブ）

スポーツ施設の整備 及び学校給食について

問① 大豆加工センターについて。

(1) 現在の雇用状況と稼働率は。

答 現在7名にて管理運営を行っている。製造スタッフとして地元雇用は3名である。稼働率は、夏場が55%、冬場が40%である。

(2) 主な販売先と今後の販路拡大は。

答 主な販売先は、大分県学校給食会、福岡県筑紫野市学校給食共同調

理場、コープ大分等である。

問② スポーツ施設の整備について。

(1) 平成の森公園のテニスコート増設の請願（平成23年9月）が採択されて以降の取り組みは。

答 駐車場を含め用地確保が課題であり、市が所有する土地と民有地の境界確認作業を進めている。

(2) 平成の森公園の人工芝化、トラックの全天候型の検討状況は。

答 各種競技の大会基準を満たしていない点などが課題であるが、課題解決に向け、スポーツ推進計画に沿ってスポーツ推進協議会等で検討し、整備計画を立てていく。

問③ 学校給食について。

(1) 給食の残さいの原因と対策は。

答 宇佐給食センターでは残さい調査は実施していないが、南部給食セ



小学校の給食時間

パナソニックの存続を



用松律夫（日本共産党）

ンターでは、1日当たり約45kgである。原因については、調査していないため、平成26年度に実施する学校給食アンケート調査を踏まえ対策を講じていく。

(2) 安心、安全な給食を提供するための対策は。

答 給食センターの職員は、朝礼での衛生管理の確認、日々の個人衛生点検表、アルコール消毒等を行い、衛生管理に努めている。食材納入業者に対しても衛生管理について指導を徹底していく。

(3) アレルギー対策の検討状況は。

答 現在、南部給食センターでは除去食を実施しているが、宇佐給食センターでは施設面の問題で実施していない。今後、施設を改修し除去食に対応する方向で考えている。

問① パナソニックの閉鎖問題。

(1) パナソニックの親会社は、2009年に約1万5千人の人員削減を行い、今回、2014年末までに約7千人の人員削減を行う計画であり、宇佐もその一環ではないか。

答 報道などで認識している。

(2) 親会社のパナソニックは資本金約2,578億円、昨年度純利益剰余金約9千5百億円、内部留保は約2兆6千億円にも上り、子会社を支援する体力は十分あり、その社会的責任を果たすべきだが。

答 市としては、社会的な責任の範囲で存続と雇用確保に要請を行っていきたい。

問② 院内の三菱電線の閉鎖を受け救済策を。

答 本社に行き存続を要望した。離職者対策に全力をあげる。

問③ 緑の庄メガ施設建設は90区画の住宅建設の計画だったことが判明した以上、本来なら住宅地にすべきであったが、その後の経済情勢などでできず、申し訳ないという認識か。

答 住民の熱い思いを汲み取るに至らず、度々お詫びを申し上げてきた。

問④ 学校の草刈や剪定の予算は今後もつけるか。

答 継続する。

問⑤ 学校の手摺の危険箇所対策は、直ちに改善を指導する。

問⑥ 学校の普通教室のエアコン設置は日田市では、全校で完了、中津市は3年間の計画だ。宇佐も設置を耐震化などが先だ。

問⑦ 国の介護保険の改悪で要支援の切り捨てと介護度2以下は、施設入所が制限されるが。

答 安心して暮らせるよう、努める。

問⑧ 国の農政改悪に対する対策は、農家所得の確保に努める。



加来栄一（日新会）

太陽光発電に関する今後の取組について

問① 届出制度の義務付の計画について。

(1) 場所の特定などを行政が知っておくべきでは。

答 宇佐市は施設の設置に関する事項は景観審議会への諮問を考えており第1回審議会において本件を審議いただく事になっている。

(2) 4月の市長会で条例を提案すべきでは。

きでは。

答 今回施行した由布市の条例でも抑制は求められるが、設置規制は出来ない事から、4月開催の春季市長会に由布市から国への要望議案が提出されると伺っている。

問② 企業の撤退について、跡地利用を企業と話すべきでは。

答 製造拠点の灯を消さない方向で存続に向け努力していただくよう要請している最中で、跡地の協議に入る段階ではないと考えている。

問③ 育児コーデイネーターについて。

(1) 市はどのような組織を計画しているのか。

答 子育て支援課の窓口及び「うさ児童館」（仮称）に併設する子育てサロン内に育児コーデイネーターを配置する。

(2) 雇用される人はどんな資格が必要か。

答 資格要件は特に問われない。

問④ 世界農業遺産の国東宇佐地域の活動について、現在の宇佐市ではどんな取り組みをしているのか。

答 年間3千5百万円の運用益を用いて関係6市町村に対し環境保全や伝統行事に取り組む団体を支援するほか、小中学生向けの学習に活用する様、文化や食の豊かさの取り組みをする。

